

科目名	動物外科看護学Ⅰ			単位数	2	科目コード		
授業形態	講義			時間数	30	開設期	2年前期	
受講条件				開設時期		教員実務経験対象	有	
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	動物病院で必要な外科の領域について学ぶ 目標検定試験：愛玩動物看護師国家試験							
授業の一般目標	1)外科に必要な検査について知る 2)手術準備について知る							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	動物看護の教科書1～6（緑書房）							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点 動物病院における外科領域に対応できる								
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点 外科疾患において必要な検査のチョイスができる								
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点 外科疾患について関心を持つ								
<input type="checkbox"/> 態度の観点								
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
テキストを用いて進める。各項目で必要な器具を示しながら、実際の使い方なども説明する。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等			授業の記録	
1～2	外科とは							
3～4	レントゲン検査							
5～6	レントゲン検査							
7～8	エコー検査							
9～10	エコー検査							
11～12	心電図検査							
13～14	内視鏡検査							
15～16	CT・MRI検査							
17～18	縫合							
19～20	外科器具							
21～22	外科手術の流れ							
23～24	麻酔管理							
25～26	麻酔モニタリング							
27～28	麻酔モニタリング							
29～30	」￥￥￥￥￥							
成績評価方法								
1単元未試験								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○	◎				100%	秀、S(4)：90点以上 優、A(3)：80点以上 良、B(2)：70点以上 可、C(1)：60点以上 不可、E(0)：59点未満 未修得、履修放棄、F ( )内はGPA点数
小テスト								
宿題授業外レポート								
授業態度								
発表・作品								
演習								
出席								
担当教員 鈴木 和弘			実務経験紹介	ナナ動物病院 院長				

科目名	動物外科看護学II			単位数	2	科目コード					
授業形態	講義			時間数	30	開設期	2年後期				
受講条件				開設時期		教員実務経験対象	○				
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	動物病院で必要な外科の領域について学ぶ 目標検定試験：愛玩動物看護師国家試験										
授業の一般目標	動物病院における外科対応について知る										
受講条件											
事前学習について（テキスト・参考書等）	動物看護の教科書1～6（緑書房）										
授業の到達目標	<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点 外科領域について学んだことを実行できる <input type="checkbox"/> 思考・判断の観点 外科領域において学んだことを用い病院で活用できる <input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点 外科領域において関心を持っている <input type="checkbox"/> 態度の観点 <input type="checkbox"/> 技能・表現の観点										
授業計画（全体）	救急対応及び運動機能障害などについてテキストを用いて進める。また、手術助手についても学び、看護師の役割を学ぶ。										
授業計画（授業単位）											
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録					
1～2	救急対応 エマージェンシー										
3～4	救急対応 エマージェンシー										
5～6	救急対応 エマージェンシー										
7～8	救急対応 エマージェンシー										
9～10	救急対応 輸血										
11～12	救急対応 輸血										
13～14	救急対応 中毒										
15～16	リハビリテーション										
17～18	リハビリテーション										
19～20	神経機能障害										
21～22	運動機能障害										
23～24	手術助手										
25～26	手術助手										
27～28	単元未試験										
29～30	解答解説										
成績評価方法											
1単元未試験											
2											
3											
4											
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準			
定期試験	◎	◎	○				100%	秀、S(4)：90点以上 優、A(3)：80点以上 良、B(2)：70点以上 可、C(1)：60点以上 不可、E(0)：59点未満 未修得、履修放棄、F ( )内はGPA点数			
小テスト											
宿題授業外レポート											
授業態度											
発表・作品											
演習											
出席											
担当教員	鈴木 和弘			実務経験紹介	ナナ動物病院 院長						

科目名	産業動物・実験動物	単位数	4	科目コード				
授業形態	講義	時間数	60	開設期	2年前期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	産業動物：産業動物の歴史や品種、使用管理法、おおよび畜産業など社会とのかかわりについて学ぶ／実験動物：実験動物の歴史や品種、飼育管理法、動物実験とのかかわりについて学ぶ 目標検定試験：愛玩動物看護師国家試験							
授業の一般目標	授業概要を全般的に網羅し、基本的なことをまず理解する							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	動物看護の教科書・必要に応じてプリントで補強							
授業の到達目標								
	□ 知識・理解の観点 実験動物の必要性と倫理観、それぞれの実験動物の役割や特徴について理解する／産業動物：産業動物とコンパニオンアニマルの違いを理解し、またそれぞれの産業動物の違いについても理解する							
	□ 思考・判断の観点 実験動物や産業動物の社会における役割や、コンパニオンアニマルとの違いを動物看護師の目線で理解する							
	□ 関心・意欲の観点 小動物臨床を将来希望する者も関心を持ち授業の望む							
	□ 態度の観点 小動物臨床を将来希望する者も関心を持ち授業に臨む							
	□ 技能・表現の観点							
授業計画（全体）								
	教科書の1単元が終わることに確認テストを行う							
授業計画（授業単位）								
回数/日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録					
1	実験動物の基礎／実験動物とは・歴史							
2	実験動物の品種、特徴、飼育管理、							
3	実験動物のコントロール、遺伝学的制御、微生物学的制御、環境制御							
4	実験動物終了テスト／産業動物の基礎							
5	産業動物とは／家畜の種類と特徴 総論							
6	産業動物とは／各論 牛・馬（飼養方法の違いも含む）							
7	産業動物とは／各論 鶏・豚（飼養方法の違いも含む）							
8	産業動物とは／解剖学							
9	産業動物の病気							
10	産業動物学終了テスト／展示動物とは・動物園や水族館の役割について							
11	野生動物とは・野生動物の基礎・分類と生物多様性							
12	絶滅危惧種について／関連する法律・保全方法など							
13	外来生物／定義・生態系に及ぼす影響・対策							
14	展示動物・野生動物終了テスト							
15	実験動物・産業動物・展示動物・野生動物のまとめ							
成績評価方法								
1 出席状況								
2 小テスト								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○	○				50%	秀、S (4) : 90点以上
小テスト	○	○	○				50%	優、A (3) : 80点以上
宿題授業外レポート								良、B (2) : 70点以上
授業態度								可、C (1) : 60点以上
発表・作品								不可、E (0) : 59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席								( ) 内はGPA点数
担当教員	平松 育子	実務経験紹介						ふくふく動物病院 院長

科目名	動物臨床看護学各論 I		単位数	4	科目コード			
授業形態	講義		時間数	60	開設期	2年前期		
受講条件			開設時期		教員実務経験対象	有		
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	一般動物医療で遭遇する確率の高い疾患について学ぶ 目標検定試験：愛玩動物看護師国家試験							
授業の一般目標	疾患とその看護がわかる							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	動物看護の教科書 1～6（緑書房） コンパニオンアニマルの疾患学入門（インターペー） 動物看護ハンドブック（緑書房）							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点 動物の臨床看護に必要な知識を習得する <input type="checkbox"/> 思考・判断の観点 動物の呈する病態に関してどのように考え、現状把握し、どうしていくべきかを判断する能力を養う <input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点 動物看護師として罹患動物の看護を実践的にとらえる眼を持つように仕向ける <input type="checkbox"/> 態度の観点 自分の判断一つで病状が変わる恐れがあることを念頭に置き真剣に取り組む <input type="checkbox"/> 技能・表現の観点 積極的に自分の判断で動き、自分の言葉で表現する								
授業計画（全体）								
全身状態について学び、その後疾患別に学ぶ。 内科疾患を学ぶと同時に、主要薬剤や、検査、療法食や看護についても学ぶ。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～4	内科学と外科学の違い							
5～8	疾患とは何か							
9～12	代表的な兆候：全身徵候・							
13～16	代表的な徵候：特異的徵候							
17～20	特異的病態							
21～24	代表的な疾患：泌尿器疾患							
25～28	代表的な疾患：泌尿器疾患							
29～32	代表的な疾患：泌尿器疾患							
33～36	代表的な疾患：循環器疾患							
37～40	代表的な疾患：循環器疾患							
41～44	代表的な疾患：循環器疾患							
45～48	代表的な疾患：呼吸器疾患							
49～52	代表的な疾患：呼吸器疾患							
53～56	代表的な疾患：消化器疾患							
57～60	代表的な疾患：消化器疾患							
成績評価方法								
1 出席状況								
2 小テスト								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○	○				50%	秀、S (4) : 90点以上 優、A (3) : 80点以上 良、B (2) : 70点以上 可、C (1) : 60点以上 不可、E (0) : 59点未満 未修得、履修放棄、F ( ) 内はGPA点数
小テスト	○	○	○				50%	
宿題授業外レポート								
授業態度								
発表・作品								
演習								
出席								
担当教員	平松 育子		実務経験紹介		ふくふく動物病院 院長			